



## ロビー活動をしないのですか

情報広報部長 中川 俊男

あけましておめでとうございます。年頭の季節風はあまり楽しい内容ではありませんが、今年一年、元気を出してがんばりましょう。

年末に、政府・与党の医療制度改革大綱が決定され、2006年度診療報酬改定の3.16%（医科本体1.5%）引き下げが政府・与党間で合意された。大綱には大幅な患者負担増と都道府県に医療費適正化を迫る内容が明記されている。両方とも全国の医師を代表する日本医師会の有効な関与がほとんどないままにトップダウン方式による決定であった。

これに先立つ11月22日、北海道医師会は永田町の自民党本部を訪れ道選出の武部幹事長に面会した。自民党が先の総選挙で圧勝し、政府が小さな政府の推進を加速する中、「医療制度改革も他分野と同一の位置づけなのですか」との問いに、「違います。あくまでも持続可能な制度を作ることを目指しており、郵政民営化とは次元の異なるものです」という言質を得ることができた。この時の当会の働きかけは、持参の資料を基に「社会保障関係費が先進国で最悪の財政赤字の主因ではない」、「厚生労働省の医療費の将来推計がずさんで超過大であり、これを基に将来の医療政策を決めることは重大な間違いを起こす」ことなどを詳細に説明し一定の理解を得ることができた。この行

動は日本医師会のロビー活動を補完するために都道府県医師会としての役割を果たそうとするものであった。

ロビー活動とは、団体や個人が政治的な決定に影響を及ぼすことを目的に議員、政党、官僚などに働きかけを行う活動をさす。語源としては、アメリカで国会議員が議会外の人と控え室（ロビー＝lobby）で面談したことからこう呼ばれてきた。ロビー活動する人をロビイスト（lobbyist）と呼ぶが、贈収賄や公益に反する活動が行われる危険性もあることから、アメリカでは「連邦ロビイング規制法」によって活動範囲が規定され、その内容の登録と報告が義務付けられている。

ロビー活動は「根回し」とは違う。後者は物事を進める際にできるだけ摩擦を少なくするための「ご機嫌伺い」的な活動であるのに対して、前者には担当する団体や人物の実績、発言力そしてなにより、相手を納得させるデータと情報が重要な要素になる。したがって、有効なロビー活動には、日常的な調査・研究と情報の蓄積が不可欠である。

日本医師会はシンクタンクを設立して独自の政策立案機能を持ち、国に先んじる形で国民に医療政策を提示し、同時に国会議員に対する早朝の勉強会などのロビー活動を精力的に進めてきた。今回の大綱にある新高齢者医療制度の骨格は財源構成を別にすれば、日本医師会のグランドデザインに示されていたものである。

しかし、残念なことに、現在の日本医師会執行部は、独自の政策立案の意義もロビー活動の重要性も、また根回しとの違いも認識していないようだ。

「どんな球が来るのかをじっくり見極めてから行動する」との植松会長の代議員会答弁であったが、最後のバッターも見送りの三振に終わってしまった。

日本医師会はすべての医師を代表する学術団体であり、会員が最大の拠り所とする医療の総本山でなければならない。このままでは、勤務医や若手会員の医師会離れが加速し、日本医師会が単なる一医療団体になってしまう。日本医師会の真の再生を熱望する。